

ツーリズムEXPOジャパンに出展しました（9月22日～25日）

2年ぶり（東京では4年ぶり）に東京ビッグサイトにおいて世界最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン2022」が開催され、東観推からは「列車にのって東北に会いに行こう」をメインテーマにJR東日本と合同で出展しました。

ブースでは、Base!TOHOKUの新規エリアを含めた15エリアを一面のパネルで紹介するとともに、「自然・アドベンチャー」「世界遺産・歴史文化」「温泉」「グルメ」「花」「学び」をテーマごとに分けてパネルにし、それぞれ東北6県+新潟県の7県選りすぐりの観光コンテンツを紹介しました。

また、冬の東北の紹介として東北・新潟の冬をバーチャル体験できるVRコーナーを設置し、よりリアルに東北の冬を来場者の皆さまに感じていただきました。「観光の力で東北を元気に！」する活動を応援をしてくれるファンの組織「TOHOKU Fan Club」会員募集コーナーでは、新規会員登録いただいた方にノベルティをプレゼントし、一般開放日の2日間で600名以上の方にご入会いただくなど大変好評でした。ほかには、10月より全線運行再開となる福島県の只見線の紹介パネルで沿線の観光スポットの紹介や、東北PR局紹介パネルなどを設置し、東北の魅力をたっぷり紹介することができました。

初日はタイ国政府観光庁のユタサック・スパソーン総裁など内外の要人にもブースへお立ち寄りいただきました。また、ステージイベントでは、青森県の津軽三味線など、7県の郷土芸能が披露され、多くの方でにぎわいました。



【ブース全景】



【Base!TOHOKUコーナー】



【東北絶景VRコーナー】



【内外の要人の訪問】



【宮城県 すずめ踊り】

トラベルマート商談会に参加しました（9月22日～24日）

東京ビッグサイトで開催されたトラベルマート2022に参加し、リアル+オンラインの手法で、アジア市場を中心に計35社の海外旅行会社と商談を実施しました。リアルでの開催は2019年から3年ぶりとなり、会場には多くの関係者が詰めかけました。またイベント期間中に日本の水際措置緩和の報道があり、海外バイヤーからも歓迎の声が多く聞かれました。

商談では、東北の桜や雪に加え、安比インターコンチネンタルホテル、ヤマガタグラム、スイデンテラスなど最新の宿泊施設をプロモーションしたところ、非常に好評でした。

コロナ禍で誕生した観光コンテンツや冬のコンテンツ、交通手段に係る情報への需要が特に高く、また、日本の伝統を感じることが出来る旅館や、工芸品の購入・制作体験ができる場所情報についても多くの質問をいただきました。既に東北の旅行商品を手掛けている旅行会社も多く、特に山形県の銀山温泉や蔵王、福島県の大内宿などのコンテンツは多くのツアー商品に組み入れられており、東北への興味関心の高まりが感じられました。

この商談会で構築した関係性を活用し、商品造成促進の働きかけを継続的にするほか、得られた知見を事業内容に反映し、来るインバウンド本格再開に向け、一層取り組みを推進してまいります。



【会場での商談会の様子】



【オンラインでの商談会の様子】

マレーシア旅行博覧会（MATTA Fair Kuala Lumpur）に出展しました（9月2日～4日）

マレーシアの首都クアラルンプールにて旅行博覧会（MATTA Fair Kuala Lumpur）が開催され、東観推と仙台市が共同で参加し、マレーシアの一般消費者に向けてプロモーションを実施しました。

今回、東観推の担当者が直接現地に訪問して参加し、新型コロナウイルスが流行して以来、初の海外渡航となりました。訪問したマレーシア・シンガポール・ベトナムは、空港や街を歩く観光客の様子から、既にコロナ前の状況に戻りつつあるように感じられました。MATTA会場も同様で、多くの来場者が訪れており、特に現地旅行会社の販売する海外ツアーを購入している方が多く見られました。

またマレーシア現地旅行会社においては、冬季の樹氷鑑賞や、桜の鑑賞をメインとしたツアー等、東北を訪れるツアーの販売が行われていました。

仙台・東北ブースでは、ブースを訪れた方にパンフレットや地図等を見せながら東北の魅力をPRし、大変好評でした。一方で、「東北とはどこか」「どんな特徴があるのか」「季節はいつが良いか」「アクセスは」といった基礎的な質問が多く寄せられたことから、マレーシアにおいてはまず東北をもっと知ってもらい、そこから一歩踏み込んだ東北の知名度の更なる向上が必要であることを実感しました。

マレーシア市場においては、訴求力のある東北の雪や桜といったコンテンツを軸にしながら、引き続き、旅行会社に向けた訪東北旅行商品増加の促進と一般消費者向けの知名度向上の取組みを両輪で進めてまいります。



【仙台・東北ブースの様子】



【多くの来場者でにぎわう会場の様子】



ベトナム旅行博覧会（ITE HTMC）に出展しました（9月8日～10日）

ベトナムのホーチミン市にて旅行博覧会（ITE HTMC）が開催され、マレーシア旅行博に引き続き東観推の担当者が現地に訪問して参加し、東北のプロモーションを実施しました。

ITE HTMCは、1日目・2日目が事業者向け、2日目夕方から3日目にかけては消費者向けに開催されました。事業者向けに開かれた2日間では、多くのベトナム現地の旅行会社・メディアが東北ブースを訪れ、合計100社を超える現地企業等と名刺交換等の交流を行い、東北のPRを実施しました。一般消費者向けに開放された日は、国内外の旅行商品を求めて多くの方が来場し、東北ブースでも訪れる人が途切れることがありませんでした。

東北ブースを訪れた旅行会社・一般消費者は、東北を知らない方がほとんどで、まずは東北の基礎的な情報から紹介しました。また、大手旅行会社であっても、訪日の旅行商品は京都や東京などのゴールデンルートすらも販売されているかどうかという状況で、東北を含む日本の地方へのツアーは残念ながら確認できませんでした。

訪日旅行の市場としては発展途上という印象のあるベトナムですが、急速な経済成長を遂げている国でもあり、日本の地方へのツアーが少ないこの状況こそが日本の中で東北が抜きん出るための好機だと捉えております。

引き続き、本イベントのような事業者・消費者にプロモーションできる機会にベトナム市場への誘客を積極的に行ってまいります。



【会場の様子】



【東北ブース来場者の様子】

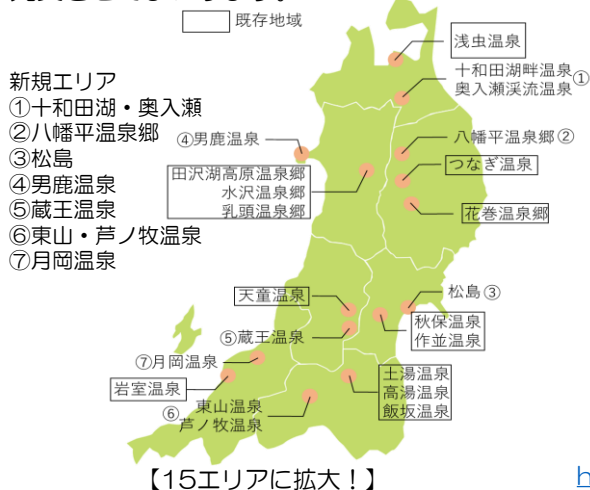


【撮影を行う東北ブース来場者】

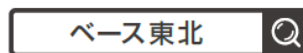
昨年度より8エリアで実施してきたBase!TOHOKUは、今年度から7エリアを加え、全15エリアに広げる予定です。このたびWEBサイトをリニューアルし、これまで以上に見やすくなりましたので、旅マエ、旅ナカでの情報収集にぜひご活用ください。

今回のWEBサイトのリニューアルとあわせて、モデルコース、おすすめのコンテンツもリニューアルしています。おすすめのコンテンツはこれまで宿泊地の近隣周辺の情報が中心でしたが、滞在しながら観光できる範囲まで掲載エリアを拡大し、より連泊時の楽しみを探しやすくなりました。モデルコースもこれまで以上に滞在中の楽しみ方を感じられるものとなっていますので、ぜひご覧ください。

今後もマップのリニューアルや新規コンテンツの追加など、ますます使いやすい情報を充実させてまいります。



【観光コンテンツ】



【Base!TOHOKUページはこちらから】
<https://base.tohokukanko.jp/index.html>



【TOPページ】

TravMedia「東北プレスセンター」から9月の発信を紹介します

東観推では、多くの有力メディアが情報収集の場として利用しているTravMediaにて、英・米・仏市場を中心に「東北プレスセンター」として情報発信を行っています。

9月は近年注目を集めているサステナブルツーリズム・グリーンツーリズムをテーマに東北での取組事例を「Authentic Green Tourism in Northern Japan: Niigata and Iwate Leading the Way」として発信しました。

東北では、新潟県佐渡市と岩手県釜石市が「世界の持続可能な観光地100選」に選出されるなど、積極的な取組み事例が数多く存在しています。都会では得られないような本物の自然体験について記事にすることで、東北の魅力を発信できるような内容になっています。

また、他にも、東北の生活に根付いた食文化の1つである発酵食品について、その歴史を中心に「Tohoku Authentic Fermentation Culture Leads to Healthy Body and Healthy Planet」として発信しました。

健康志向の高まりから発酵食品が注目されていますが、東北では昔から厳しい冬を乗り越えるため、発酵食品が生み出されてきました。さらに、発酵食品の1つである日本酒も東北には数多くの酒蔵があります。発酵食品の多角的な魅力について紹介することで、海外に向けて東北の食の魅力を発信することが出来ました。

このように、海外メディアへの情報発信を継続して行うことで、東北が魅力的な訪問地であることを世界に印象付けられるよう、東北・新潟各県、仙台市と連携した広域での効果的な情報発信に取り組んでまいります。

引き続き各県市などからの掲載情報をお待ちしております。なお、ご提供いただいた情報については、TravMedia以外にもTOHOKU Fan Clubや各種SNSで発信するなど積極的に活用してまいります。

Authentic Green Tourism in Northern Japan: Niigata and Iwate Leading the Way

Sado, Niigata and Kamashiki, Iwate have each been named one of the '100 Sustainable Tourist Destinations in the World' by Green Destinations.

In addition to reviving the created ibis, which was on the verge of extinction, the residents of Sado cooperated to improve the rice fields which are the ibis' feeding grounds. Additionally, the residents are continually working with "eco" in mind, creating an eco-friendly environment where tourists will be able to enjoy real nature - something unsustainable in the city.

Making the most of their natural resources, the citizens of Kamashiki have prepared fishing boat cruises using local fishermen's boats as a new experience activity that highlights the natural beauty of the local seaport.

The Tohoku area in general is a sustainable tourist destination with places like Sado and Kamashiki where visitors can "enjoy nature tourism" through contact with rich nature and traditional culture, authentic to each area.



Tags: Tohoku, Niigata, Iwate, 100 Sustainable Tourist Destinations in the World, Sado, Kamashiki, Japan

Tohoku Authentic Fermentation Culture Leads to Healthy Bodies and a Healthy Planet

In the Tohoku region, many kinds of fermented foods have been concocted for the sake of surviving the harsh winter when the fields are covered with heavy snow and crops cannot be harvested. Fermentation enhances the taste, nutritional value, and shelf-life of ingredients. These authentic fermented foods have become a crucial source of strength for the people of Tohoku during the cold winter.

The use of fermented foods also contributes to reducing food waste. By re-purposing seasonal ingredients without waste, they can be incorporated into meals all year round. Sustainability at its best!

Tohoku is also famous for another fermented delight - sake. Sake is made by fermenting ingredients such as rice and barley. In addition to the blessings of high-quality rice and water, the fermentation technology cultivated in Tohoku produces an unbelievably delicious sake, so be sure to try it when you visit!



Tags: Tohoku, healthy, Fermentation Culture, asonori, akita, Yamagata, Fukushima, Miyagi, Iwate, Japanese pickles, Miso Soup, Miso, Japanese sake

【9月の投稿（抜粋）】

SNSで東北の観光スポットやキャンペーン情報を紹介しています

東観推では、香港・台湾版Instagramや中国weiboを駆使し海外に向けて情報発信を行っています。

香港・台湾版Instagramでは、神秘的な雰囲気が特徴の鶴の舞橋や、写真に映えるスイデンテラスなどの宿泊施設を紹介しました。また、中国weiboでは角館や鳴子峡など秋の紅葉スポットを取り上げて掲載しました。加えて、新型コロナウイルスが発生してからなかなか訪日できない現地の方々に観光地の様子を伝えるべく、ライブ配信も行っています。これまで、秋田県の竿燈まつりや山形県の花笠まつりをライブ配信し、フォロワーの方々に臨場感のある祭りの様子をお伝えしてきました。閲覧回数は10万回以上に達するなど、効果的な発信ができました。

今月から新型コロナウイルスへの水際対策が緩和され、インバウンドが本格的に再開いたします。今後も時宜を逸さず、海外の方々にも東北の情報を伝えてまいりますので、ぜひフォローをお願いします！

	【東北の観光・旅情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_hk/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【鶴の舞橋（青森県鶴田町）】



【スイデンテラス（山形県鶴岡市）】



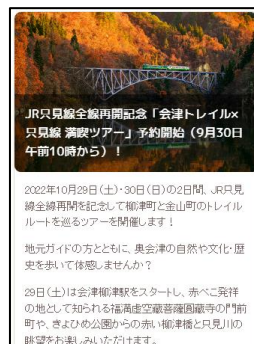
【鳴子峡（宮城県大崎市）】

TOHOKU Fan Clubの会員に向けて情報を発信してみませんか？

●TOHOKU Fan Clubで情報を発信してみませんか？

TOHOKU Fan Clubの会員に地域のイベント情報を発信、アンケートの依頼、モニターツアー参加の呼びかけ等をしていませんか？アンケートはターゲットを絞って回答を依頼でき、結果を効果的なマーケティングデータとして活用できます。アンケートの実施、情報発信、モニタープランの参加呼びかけ等を連動し、地域への誘客を今まで以上に促進させてみてはいかがでしょうか。東観推の会員区分に応じて、一定回数無料でこのシステムをご利用いただけます。詳しくはお問い合わせください。【ご連絡先】DX戦略部 E-mail kikaku@tohokutourism.jp

	① 投稿	② アンケート	③ オファー
区分	ファンへの情報発信 (≒Facebook)	ファンが回答するもの	ファンが申し込むもの または、ファン限定の情報
活用例	おすすめ情報、お得な情報 (例) お祭り・イベント開催予告 新規観光施設のオープン 桜・紅葉の見ごろ情報 等	ファンに聞きたい内容 (例) コンテンツ作成前の テストマーケティング 認知度調査 等	ファンへの参加や購入の呼びかけ (例) モニターツアー参加者募集 セミナー参加者募集 ファン限定プラン販売 等
利用料	<会員特典> 正会員 : 4回まで無料 賛助会員 : 2回まで無料 非会員 : 初回無料	初回無料0円/回 + ポイント原資	<会員特典> 正会員 : 4回まで無料 賛助会員 : 2回まで無料 非会員 : 初回無料

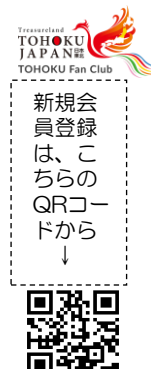


JR只見線全線再開記念「会津トレイルx
只見線 満喫ツアー」予約開始 (9月30日
午前10時から)！

2022年10月29日(土)・30日(日)の2日間、JR只見
線全線再開を記念して前津町と金山町のトレイル
ルートを巡るツアーを開催します！

地元ガイドの方々と共に、奥会津の自然や文化に歴史を
感じていただきます。

29日(土)は金津柳津駅をスタートし、赤べこ吉祥
の地として知られる福島県空蔵寺(空蔵寺)の門前
町や、きよひめ公園からの赤い柳津橋と只見川の
眺望をお楽しみいただけます。



【9/30投稿のオファー】

東北観光DMP参入自治体合同セミナーを開催しました（9月30日）

東北観光DMP参入自治体（青森県、宮城県、秋田県、福島県、新潟県、仙台市）のDMP担当者およびプロモーション担当者を対象とした合同セミナーをハイブリッドで開催しました。

東北観光DMPで今年9月にリリースした消費購買データの特徴や活用方法などについて、データ提供元の三井住友カード株式会社の担当の方からご説明いただきました。その後、参入県市の皆さまと東北観光DMPを活用した施策展開などについて意見交換を行いました。

今後も東北観光DMPの本格活用に向けた合同セミナーを開催し、DMPを各種観光施策に活用してまいります。



【意見交換会の様子】

シンガポールの旅行会社・メディアと意見交換を実施しました（9月6日）

シンガポールの旅行会社・メディア計4社を現地訪問し、東北の旅行情報の提供や今後の連携に向けての意見交換を実施しました。

今回のシンガポールへの訪問では、まだ日本の各地のセールスがそれほど行われていない中、東北が直接各社へセールスしたことでより日本の中の東北を印象付けることができたものと考えています。訪問した旅行会社では、訪問の際に東観推が紹介したコンテンツを活用して商品作りに着手するなど、早速訪問の成果が表れています。

また、東南アジアにおける有力OTAであり今年度連携事業を実施しているAgodaとは、次年度以降の連携について直接協議でき、今後のプロモーションに繋げることができました。

元々個人での旅行者が多かったシンガポール市場では、このコロナ禍を契機に旅行会社によるツアー需要も一定程度高まっているという意見もあり、今後も旅行会社との連携を継続しツアーの造成促進を図ってまいります。



【現地セールスの様子】

第3回訪日プロモーション担当者会議（オンライン）を開催しました（9月20日）

東北6県・新潟県・仙台市の訪日プロモーション担当者と共に会議を開催しました。この会議は東観推と各行政の担当者間における情報共有と活発な意見交換を目的に2か月に1度実施しています。

第3回目となる今回は12/17～18開催予定の台湾現地イベント「日本東北遊楽日」、2023年度訪日プロモーションにおける行政との連携事業を中心に共有および意見交換を行いました。「日本東北遊楽日」ではイベントの前後で実施する予定の現地セールスやプロモーションに対する連携を行政に呼びかけました。来年度の訪日プロモーションにおける連携事業については、台湾・タイ・中国・韓国を重点市場とした事業計画（案）を中心に行政に提案するとともに更なる連携を呼びかけました。

次回の会議は11月を予定しており、今年度の事業を計画的に遂行し、かつ効果的なプロモーションができるようしっかりと連携を図ってまいります。

「Base!TOHOKU」オンライン商談会を開催しました（9月12日、14日）



「ロングステイといえば東北」のブランド化を進めるBase!TOHOKU事業に参画している旅行会社10社と12のモデル地域によるオンライン商談会を、2日間にわたり実施しました。地域の観光協会や宿泊施設などの観光事業者からはおすすめの観光コンテンツや宿の情報などが提供され、旅行会社と活発な意見交換が行われました。参加された旅行会社からは「新しい素材を発見する良い機会となった」などの感想が寄せられました。引き続き旅行会社と地域が関係構築できる機会を提供していきます。



【オンライン商談会の様子】

東北教育旅行商談会を開催しました（9月13日）

福岡市のANAクラウンプラザホテル福岡において「東北教育旅行商談会」を開催しました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、十分なスペースの確保等、感染対策を徹底して実施しました。

第一部は東観推と東北・新潟の担当者からのプレゼンテーション、第二部では33名の東北側事業者と5社23名の九州圏旅行会社が活発な商談を行いました。

参加した旅行会社からは、「東北地方について提案しやすくなった」という意見が多く出され、学校への企画提案の参考となる内容であったことが伺えました。



【第2部 商談会の様子】

紺野理事長が講演を行いました（9月27日）

山形県新庄市で開催された「最上県勢懇話会例会」において、紺野理事長が講演を行いました。

新幹線の開業やDC開催などにより、各県の観光入込数も長期的に増加していること、またウィズコロナの観光振興のポイントや最上地域の行政や企業が取り組むべき施策・対応策などに言及し、地域の尖がり（キラコンテンツ）を活用して地域全体で魅力を創出し、他地域と組み合わせて魅力を演出することなどについて話しました。



【講演の様子】

第七期フェニックス塾 第3回塾を開催しました（9月15日～16日）

今年度第3回目となる「フェニックス塾」を福島県裏磐梯で開催しました。9月15日にセミナー・ワークショップ、16日にエクスカーションを開催し、それぞれ34名、32名の塾生が参加しました。

【9/15・第一部】セミナー

テーマ：「アフターコロナの観光振興に向けた取組みと持続可能な東北観光」

講師：東北運輸局長 田中由紀様

【9/15・第二部】ワークショップ（グループディスカッション）

「東北（TOHOKU）を国内外から選ばれる観光地にするには」をテーマに各グループの研究テーマ設定と現状把握の深化を実施しました。

【9/16】エクスカーション

前半は、今年度観光庁長官表彰を受けた「裏磐梯観光活性化協議会の取り組み」について大和リゾート株式会社の皆川大樹様よりお話を伺い、地域に根差した地元の観光の取組みについて学びました。後半は、お話いただいた内容を踏まえ、ネイチャーガイドと共に五色沼自然探勝路を散策しました。

各グループの研究テーマも決まり、これからより深い議論を交わしてまいります。



【田中運輸局長のセミナーの様子】



【皆川様による地元の取組みの紹介】



【ガイドの説明とともに五色沼を散策】

「旅東北NEWS」VOL.049 2022年10月17日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！